2018年7月号

神越
鈴木　あん梨（あんり）さんの巻
長女　心都（こと）ちゃん（2歳）

平成28年4月1日、鈴木家に元気な女の子が産まれました。その２週間後に、熊本地震があり、八幡浜も震度５弱の揺れがきました。私は、こんなに小さい娘を、守ってやることができるかと不安になったことを覚えています。しかし、日々の子育ての中で、たくましく力いっぱい母乳を飲んでくれる娘の力強さに励まされ、何が何でも娘を守らなきゃという気持ちが強くなり、娘に成長させてもらっているのだと感じました。

初めての育児で不安だらけの私たちでしたが、娘は、産まれたときから親思いで、あまり泣くことがない育てやすい子でした。表情が豊かで、よく笑い、娘の可愛い笑顔に癒され、夜中の授乳も頑張ることができたのだと思います。

そして１歳まで熱を出すこともなく、元気にすくすく育ってくれて、２歳になった今では、お人形のぽぽちゃんを本当の妹のように可愛がって、絵本を読んだり、寝かせたりしています。そして外では、水遊びや泥んこ遊びが大好きな活発な女の子です。ときには、おてんばが過ぎて大変なこともありますが、日々出来ることが多くなる娘を見ると成長の早さに驚きと嬉しさを感じています。

主人は愛知県出身ですが、人の温かさを感じ、八幡浜が大好きになりました。そしてなにより、娘の心都に関しては本当によく面倒を見てくれるのですごく助かっています。いつもおままごとや粘土で遊んだり、休日にはお散歩へ行ったり、公園で遊んでくれるパパが、娘は大好きです。

これから、色んな出会いがあると思います。私は、娘にはまず人として挨拶をしっかりと言える子になって欲しいと思っています。名前の由来の通り、人の気持ちが分かり、思いやりのある、そして都のように人が集まってくるような子になって欲しいです。私自身、母には小さい頃から「いつも笑顔で感謝の気持ちを忘れずに」と、言われて育ってきたので、それを娘にも伝えていきたいです。これからも、愛橋溢れる可愛い心都でいてね。